

ヴァイオリンの調べは、希望につながるわたしたちのこぼ



福島とともに

つむ
希望を紡ぐコンサート

アテフ・ハリム (ヴァイオリン奏者)

エジプト人の父とフランス人の母の間にカイロで生まれ
5歳よりヴァイオリンを始める。13歳で単身パリに渡り
パリ音楽院卒業後、フランス国立管弦楽団入団。若くして
コンサートマスターを務めたのちソリストとして独立。
東日本大震災後、陸前高田市の流木でつくったヴァイオリン
を国内外の奏者でリレー演奏する「千の音色でつなぐ絆」
プロジェクトにも参加、その様子は中学校の英語教科書
(New Horizon 3)にも載っている。
『音楽こそすべての人がわかりあえる唯一の言葉、そして
平和につながる確かな希望』との信念のもと演奏活動を行っ
ている。親日家で、温泉とくるみゆべしが大好き。



司

会 森 明美

- ・ J. S. バッハ「無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータ」より
- ・ マスネ「タイスの瞑想曲」
- ・ エルガー「愛の挨拶」
- ・ ドヴォルザーク「ユモレスク」
- ・ 滝廉太郎「荒城の月」
- ・ シューベルト「アヴェマリア」
- ・ ウィリアムズ「映画『シンドラーのリスト』のテーマ」 他



2017年 8月5日(土) 13:30開場 14:00開演

原発災害情報センター多目的ホール [白河市JR白坂駅より徒歩5分]

入場無料 どなたでも!ごいっしょに!すてきな音色を!!

主催・問い合わせ:ざ・あんころもち

☎/FAX 048-887-7786 (塚田) 048-862-4386 (中川)

協賛団体 : 原発災害情報センター

白河市白坂三輪台247

☎/FAX 0248-28-1111

グループ TAKIZAKURA

震災支援ネットワーク埼玉